

## 6001（第60期 第1回）男女共同参画推進委員会会議議事録

日 時：2004年9月7日（火）9：30-13：40

場 所：日本物理学会内会議室（港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5F）

出席者： 鳥養映子（委員長）、板倉(中村)明子、井上順一郎、延與秀人、鈴木厚人、  
安居院あかね、坂東昌子

欠席委員：潮田資勝、笹尾真実子、田島節子、肥山詠美子、平野琢也、  
福山秀敏、村尾美緒、

議題：

### I. 今期委員とネットコメンテーターの確認

\*名簿一覧表どおりで正しいかどうか、特に所属とE-mailの確認が要請された。

\*ネットコメンテーターの定義について疑義が出され、今後検討することにした。

### II. 前回会議議事録の確認

\*坂東前期委員長によって概略の説明があった。

### III. 報告事項

#### (1) 科研費助成枠拡大の件

更に研究費部会宛に出すかどうかは、審議事項の「今後の課題」に回すことにした。  
研究費部会では理科離れのことが話題になっているとの情報も出された。

#### (2) 10/7 学協会連絡会設立2周年記念集会

11/24 開催予定の学術会議主催公開講演会との違い等について自由討論があった。

#### (3) 2005 世界物理年のための取り組み

世界物理年委員会委員の坂東前期委員長より、文科省も動き出した、Women in Physics+Women in Science の企画を考えており、予算書を送った等現状報告があった。

(4) これまでに提出済みの二つの提言に関する会誌記事の別刷に基き、本委員会の取組を振り返るとともに、今後の取り組み予定について鳥養委員長より抱負が述べられた。(物理学会に向けた提案なら自分たちにできるので、地道に取組みたい。

#### 1 研究者の支援, ②女性を励ます組織等, ③小中高の女子生徒への働きかけ。

またこれに基いて自由討論が行なわれた。

\* アメリカにある女性支援資金について一作るのなら運営のための寄付金を募るかどうか

\* マンパワーの必要。応物等他学会や諸官庁との交流,協力が必要。

\* 例えば本委員会で内閣府や文科省の人を呼んで話を聞くこともよい。

\* 夏休みに、先生の再教育や子供たちを対象にした企画を立てたい。

- \* この委員会と小中高の教育関係者に距離があるとしたら、そのことが問題だと思う。また、子供向けの企画は地方では盛況である。
- \* イベントはこの委員会だけでやるのではなく、役所が関与しないとできない。
- \* 女性研究者の支援は物理分野に限ることになるか？
- \* 2002年のパリ会議における“Recommendations”を読むと、この中に今後の取り組みのヒントがある。例えば、男性に加わってもらうこと、や、理科離れのことを書かれている。
- \* 現在行なわれている、物理学会員の、男性／女性別、常勤／非常勤別実態調査につき、新委員に協力が呼びかけられた。

#### IV. 審議事項

- (1) 副委員長の決定  
延與委員にお願いし、了承された。
- (2) 10/7 学協会連絡会設立2周年記念集会  
「提言」について：物理学会で出した「提言」に基いて、学協会連絡会でも、外部に向けた提言を検討中であることについて紹介があり、特に研究費の支給枠拡大について、改善の見られた現状に見合った内容にするための意見交換があった。（「常勤」「非常勤」の言葉の定義をめぐって、等。）  
「育児支援」のほうも含めて送付先について。(物理学会の提言は全国の大学学長、研究所所長宛、報道機関宛に送った。)  
現時点での案に対しての意見はE-mailで坂東委員宛、今日中に出すこと。
- (3) 9 A P P Cで"Women in Physics" (Hanoi, 10月)  
Chairの福山先生から発言者として坂東前期委員長に指名があったが、参加できない場合は鳥養委員長の可能性も言われている。1名は派遣することを決めた。
- (4) 第2回IUPAP国際会議"Women in Physics"  
パリ会議では応物途日物で7名ずつ参加したが、今度もまた応物と半々で参加したい。連絡会のアンケート報告をする必要がある。若手を励ますために送りたい、との委員長の見解が述べられた。
- (5) 今後の取り組みについて  
今日出された意見を基に更に議論を継続することにした。

以上

次回会議は、10/1(金)、10/2(土)、10/30(土)、12/4(土)  
の4つの候補日から2回開催する。

## 追記

10/7 シンポジウムについて鳥養、坂東、高嶋の間で若干打ち合わせをした。

(14:00～会議終了後)

当日配布の資料集の作成について、次の点を確認した。

- \* 9/15 締切で原稿をいただくことにする。
- \* シンポジウム講師依頼状で原稿の依頼もする。
- \* 交通費は学術会議の戒能氏だけに 5000 円を支払う。(文科省等の役人は受け取らないだろうから用意する必要はない。)
- \* 講演謝礼金は Helen Quinn さんと、長谷川真理子さんに各 2 万円を支払う。

---

## 6001 (第 60 期 第 1 回) 男女共同参画推進委員会会議資料 (2004.9.7)

- \* 第 60 期委員およびネットコメンテーター名簿
- \* 男女共同参画推進委員会規則
- \* 前回(5907)会議議事録 (案)
- \* 10/7 学協会連絡会設立 2 周年記念シンポジウム案内(プログラム)
- \* 11/24 学術会議主催公開講演会「どこまで進んだ男女共同参画」案内
- \* 2002 年 5 月 7 日付 IUPAP の Judy Franz 発北原先生宛の手紙  
(パリ会議の Conference Summary  
+Conference Resolutions)+Recommendations+参加者名簿)
- \* 学協会連絡会における 9/4 時点の「提言」最終案(連絡会坂東委員長のメールによる)
- \* 会誌別刷 2 点 (2003 年 11 月号+2004 年 2 月号。本会の「提言」と活動報告記事)